

発 言 要 旨

【北海道水素社会実現戦略ビジョン（案）について】

通告していなかったもので、提案ということでさせていただきます。

赤根委員からも本会議で、実質ですね、知事から 2050 年「ゼロカーボンシティ宣言」というのがあったわけですが、この「北海道水素社会実現戦略ビジョン」を改めて拝見させていただきます。例えば、ビジョン策定趣旨、目標年次、ビジョン策定の背景、6 ページぐらいからは「目指す姿」というのがあるわけですが、ここに全く「ゼロカーボンシティ宣言」について触れていないというのが、私はちょっと組織として不十分なのではないかと思えます。

「ゼロカーボンシティ宣言」の意義は、赤根委員もおっしゃったように対外的にそれをアピールしていくという意味もありますけれども、組織として、ただの啓発ではなく、事業として落とし込んでいくということが非常に必要だというふうに思います。

それに、例えば、目標年次も国の水素・燃料電池戦略ロードマップにおいてということで、大体、令和 42 年度、2040 年度頃までを一つのフェーズとして目指しているということではありますけれども、知事がそういう宣言をした以上、この 2040 年度というのは、一つの到達地点であるので、そういう書き込みがまず必要なのではないかということをお自身は御提案させていただきたいと思えます。

それともう一つ、これは改めて必要だったら質疑させていただきたいと思えますが、水素サプライチェーン構築ロードマップの見直しに関しても、今のこのままの状況でいくと、2040 年頃までの国の戦略にあわせてということになると思えますけれども、あくまでも 2050 年までのゼロカーボンというのが、最後の目標ですから、その中で通過点としての 2040 年ということ、きちんと組織としても落とし込まないと。

知事の議会答弁というのは非常に重いと思えますけれども、ただ口頭で言ったことですから、組織の中に落とし込んでいくところが少し欠けているのではないかと思えますので、一応今日は通告していませんので、御提案ということとさせていただきたいと思えますので、是非御検討いただきたいと思います。